D01366101F

ESOTERIC

N-01XD

取扱説明書

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

エソテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

取扱説明書は、ESOTERIC ウェブサイト (https://www.esoteric.jp/jp/) からダウンロードすることができます。

本機を使用するには、専用アプリ (無償) をインストールしたタブレット / スマートフォンを同一ネットワークに接続する必要があります。

目　次

注意

本機のアナログ出力は、選択した端子 1 系統からのみ信号を出力します。

最初にアナログ出力設定をしてからご使用ください。

設定方法は、15 ページの「設定モード」と 17 ページの「アナログ出力設定」をお読みください。

MQA and the Sound Wave Device are registered trade marks of MQA Limited.© 2016

Being Roon Ready means that ESOTERIC uses Roon streaming technology, for an incredible user interface, simple setup, rock-solid daily reliability, and the highest levels of audio performance, without compromise.

"DSD" is a registered trademark.

Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

Apple, Mac, OS X and macOS are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

App Store is a service mark of Apple Inc.

Android is a trademark of Google Inc.

Google Play は、Google Inc. の商標です。

Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標です。

ESOTERIC およびエソテリックは、ティアック株式会社の登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

オープンソースに関する著作権およびライセンスは、別紙「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」に記載します。

安全にお使いいただくために 4
お使いになる前に 6
　付属品の確認 6
　設置について 6
　お手入れ 6
使用上の注意 6
　電源の極性について 6
ネットワークの接続 7
接　続 8
　ES-LINK Analog で接続する場合 10
入力ソースを切り換える 10
各部の名称 11
ネットワークプレーヤー機能を使用する 12
USB DAC 機能を使用する 13
　対応 OS 13
　ドライバーのインストール 13
　再生アプリケーションソフト
　「ESOTERIC HR Audio Player」のダウンロード . 13
　音楽ファイルを再生する 14
設定モード 15
　設定のしかた 15
設定 1 16
　PCM 信号のアップコンバート設定 16
　クロック設定 16
　PCM 出力ゲイン設定 17
　アナログ出力設定 17
　ディマー (DIMMER) 設定 17
　ディスプレー自動消灯設定 17
　オート・パワー・セーブ設定 18
設定 2 18
　PCM 信号の D/A コンバート動作モード設定 18
　DSD フィルター設定 18
　ボリューム調整設定 19
　ETHERNET 端子の LED 設定 19
　ネットワーク入力回路電源設定 19
　リモコン動作設定 19
　ファームウェアのバージョン表示 20
　RAAT モード 20
設定 3 21
　オーディオプログラムアップデート設定 21
MQA (Master Quality Authenticated) 21
困ったときは 22
　一般 22
　クロック同期 22
　パソコンとの USB 接続 22
　出荷時の状態に戻すには 23
仕　様 23
寸法図 25
保証とアフターサービス 26

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
 電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター (27 ページ) に修理をご依頼ください。
 禁止	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら (芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (27 ページ) に交換をご依頼ください。
	付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
	交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧 (交流 100 ボルト) 以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し (20cm 以上) 離して置く **ラックなどに入れるときは、機器の天面から 5cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまをあける** すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧は、聴覚障害の原因となります。聴覚障害の可能性を防ぐために、長時間，高音量で聴かないで下さい。
 指示	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的 (年 1 回くらい) に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
 禁止	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

	警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (27 ページ) にご依頼ください。	
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。	

	注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す** ケーブルが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。	
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。	
 指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する また、接続は指定のケーブルを使用する**	
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。	
	この機器は約 26.3 kg あり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する。	
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。	
	この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。	
 禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。	
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。	
 禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。	


愛情点検

電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5 年に 1 度は、販売店またはティアック修理センター (27 ページ) に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

お使いになる前に

付属品の確認

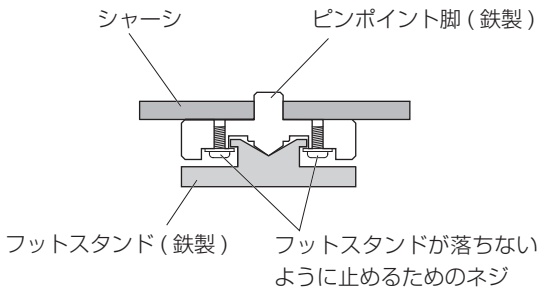
万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社 AV お客様相談室 (27 ページに記載) にご連絡ください。

電源コード ×1
フェルト ×4
HDMI ケーブル ×1
取扱説明書 (本書)×1
ご愛用者カード ×1

設置について

本機の底板には、高精度の鉄製ピンポイント脚が取り付けられています。

ピンポイント脚とフットスタンドは、ぐらついた状態になっていますが、設置するとピンポイント支持になり、振動を効果的に分散させます。



- 設置面を傷付けたくない場合は、フットスタンドの裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。

お手入れ

製品表面の汚れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れのときは、固く絞った布で水拭きしてください。

ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

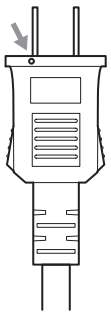
使用上の注意

- 本機の上には物を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 安定した場所に設置してください。
- ES-LINK のフォーマットはエソテリック独自であり HDMI 規格と互換性はありません。ES-LINK 端子と他社機器の HDMI 端子を接続しないでください。

電源の極性について

付属の電源コードのプラグ部分に丸い突起がある方が、本機のアース側を示しています。一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。

接続時の電源プラグの差し込む向き (極性) によって、音質が変わることがあります。お好みの音質となる向きで接続してください。



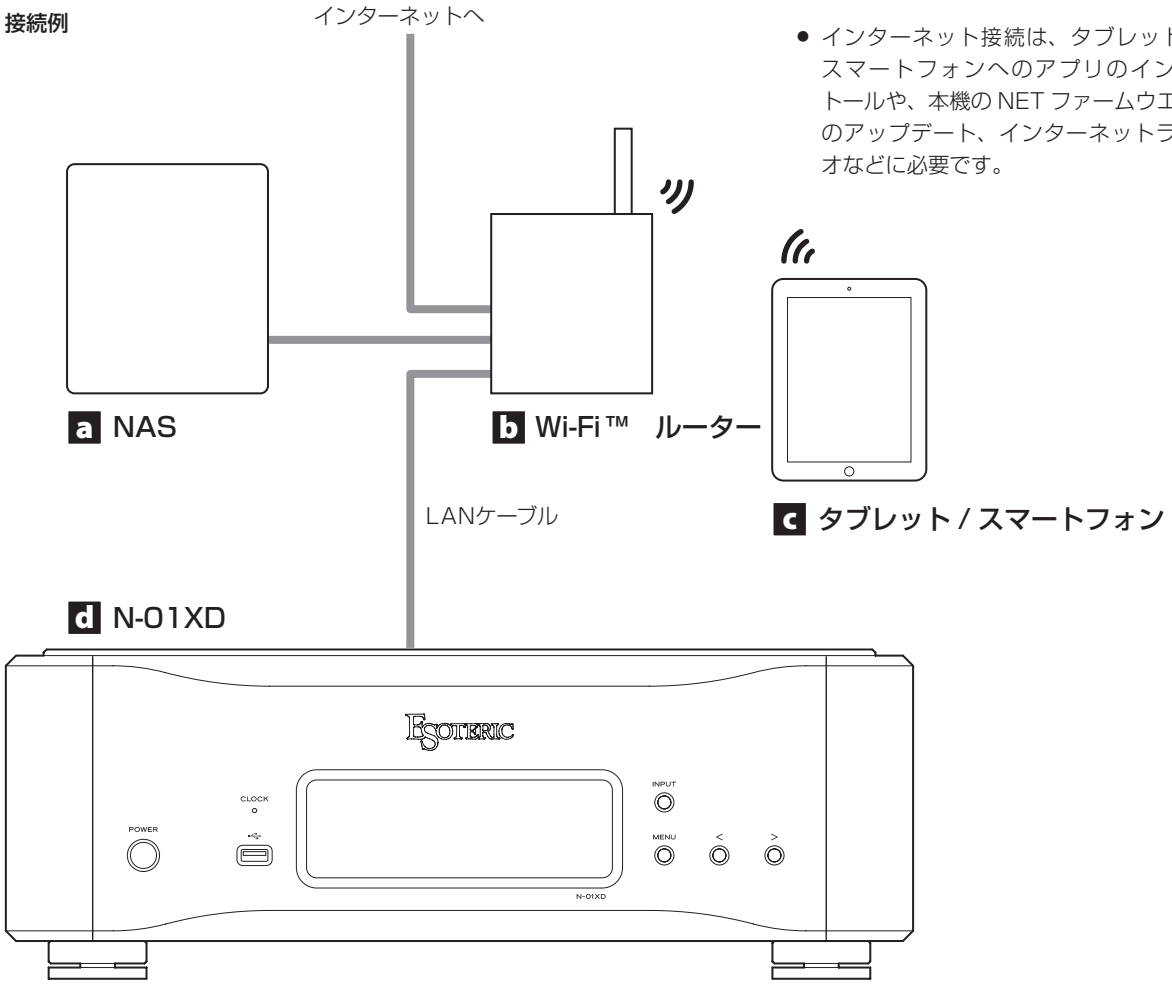
音のエチケット



楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

ネットワークの接続

接続例



- インターネット接続は、タブレット / スマートフォンへのアプリのインストールや、本機の NET ファームウエアのアップデート、インターネットラジオなどに必要です。

a NAS(ネットワークアタッチトストレージ)

音楽ファイルを保存します。
メディアサーバーとして UPnP サーバーが動作していることが必要です。

NAS の代わりに USB メモリーなどの USB ストレージに音楽ファイルを入れて、USB ドライブ端子に接続し、N-01XD のメディアサーバー機能を使用してファイル再生を楽しむこともできます。(12 ページ)

b Wi-Fi™ ルーター

タブレット / スマートフォンを Wi-Fi 経由で本機と NAS に接続します。

c タブレット / スマートフォン

アプリをインストールして、本機をコントロールします。

d N-01XD

本機

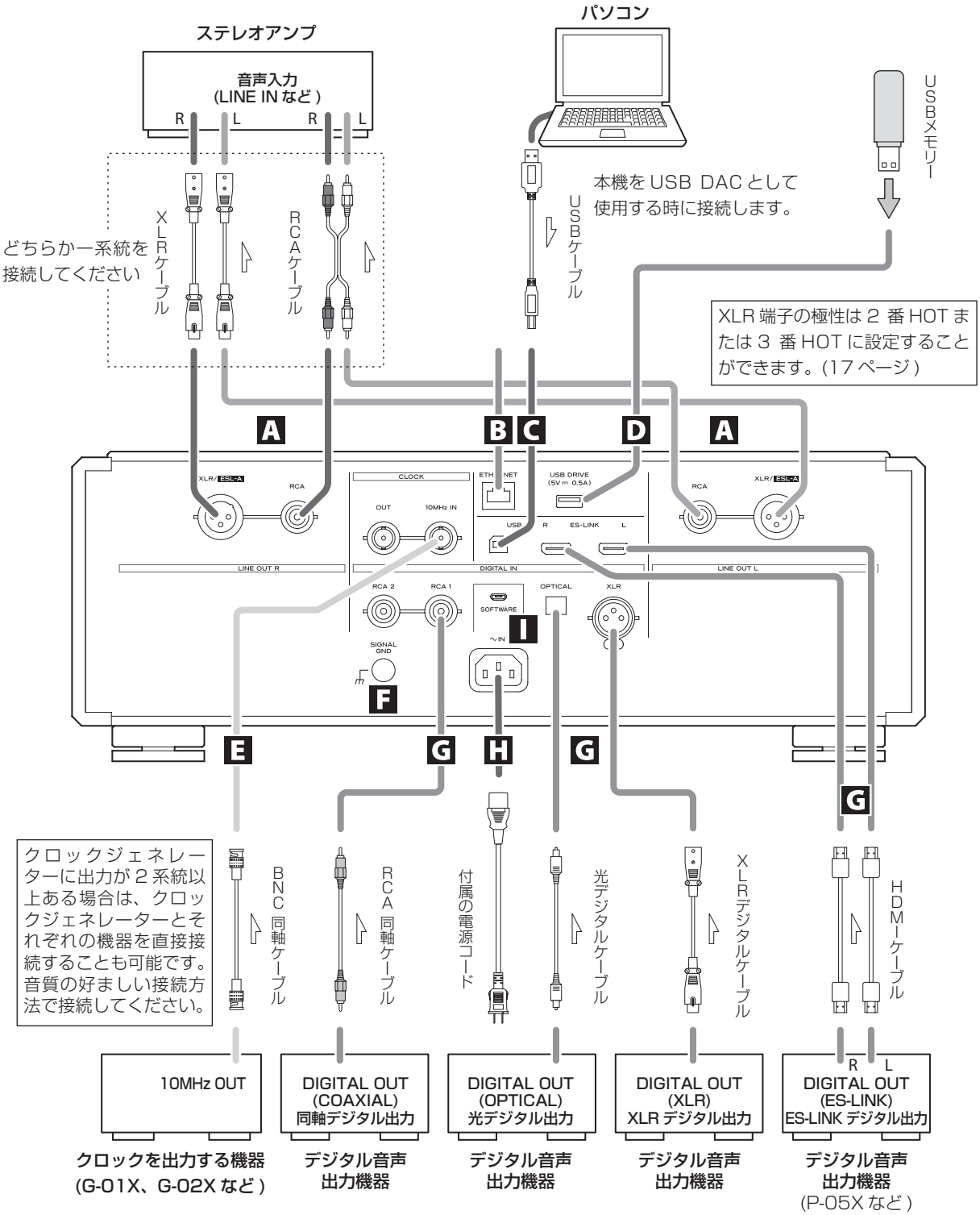
注意

出荷時の ETHERNET 端子の LED 設定 (LanLED>) は「OFF」に設定されています。(19 ページ)

接　続

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。



A アナログ音声出力端子 (LINE OUT)

2 チャンネルのアナログ音声を出力します。XLR 端子または RCA 端子をアンプと接続してください。

接続には市販のケーブルをお使いください。

XLR/ESL-A : XLR ケーブル
RCA : RCA ケーブル

本機の R 端子とアンプの R 端子、本機の L 端子とアンプの L 端子をそれぞれ接続してください。

接続した端子に合わせて、アナログ出力の設定を行ってください。(17 ページ)

- アナログ音声出力は、XLR 端子 (極性は 2 番 HOT または 3 番 HOT)、RCA および ESLA から選択できます。(17 ページ)
- 本機と ES-LINK Analog 端子 (ESL-A) があるアンプを接続する場合は、本機のアナログ音声出力端子 (XLR/ESL-A) とアンプの ES-LINK Analog 端子 (ESL-A) を接続することを推奨します。(10 ページ)

B ETHERNET 端子

LAN ケーブルを使って、ネットワークに接続してください。

接続には市販の LAN ケーブルをお使いください。

C USB 端子

パソコンのデジタル音声を入力します。パソコンの USB 端子と接続してください。

接続には市販の USB ケーブルをお使いください。

- 接続の前に 13 ～ 14 ページの注意をよくお読みください。

D USB ドライブ端子 (USB DRIVE)

音楽ファイルが保存されている USB メモリーを接続してください。

- USB ドライブ端子に接続した USB メモリーの音楽ファイルを再生するときは、入力ソースを NET にして、アプリを使って再生してください。(12 ページ)

E クロック入出力端子 (CLOCK 10MHz IN、OUT)

クロック入力端子 (10MHz IN) に 10MHz の同期信号 (クロック) を入力します。
クロック同期させる場合は、クロックを出力する機器のクロック出力端子と本機のクロック入力端子 (10MHz IN) を接続して、外部クロック設定 (CLK>) を「IN」に設定してください。(16 ページ)

本機からクロック出力する場合は、クロック出力端子 (CLOCK OUT) をデジタ音声出力機器のクロック入力端子と接続し、クロック設定 (CLK>) を「OUT44」または「OUT48」に設定してください。(16 ページ)

接続には市販の BNC 同軸ケーブルをお使いください。

- BNC 同軸ケーブルはインピーダンス 50Ω または 75Ω のものがお使いいただけます。

F アース端子 (SIGNAL GND)

アンプなど、本機と接続する機器とアース接続をすると、音質が良くなることがあります。

- 安全アースではありません。

G デジタル音声入力端子 (DIGITAL IN)

デジタル音声を入力します。
P-05X などのデジタル機器のデジタル出力端子と接続してください。

ES-LINK: HDMI ケーブル

- ES-LINK のフォーマットはエソテリック独自であり HDMI 規格と互換性はありません。ES-LINK 端子と他社機器の HDMI 端子を接続しないでください。
- P-05X との接続は ES-LINK 接続を推奨します。

以下の接続には市販のケーブルをお使いください。

OPTICAL : 光デジタルケーブル (TOS)
RCA : RCA 同軸デジタルケーブル
XLR : XLR デジタルケーブル

- 32kHz ～ 192kHz、24bit までの信号が受信できます。

H AC インレット (～ IN)

付属の電源コードを差し込んでください。
全ての接続が終わったら、電源プラグを 100V AC の電源コンセントに差し込んでください。

- 本機の AC インレットは 3 ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

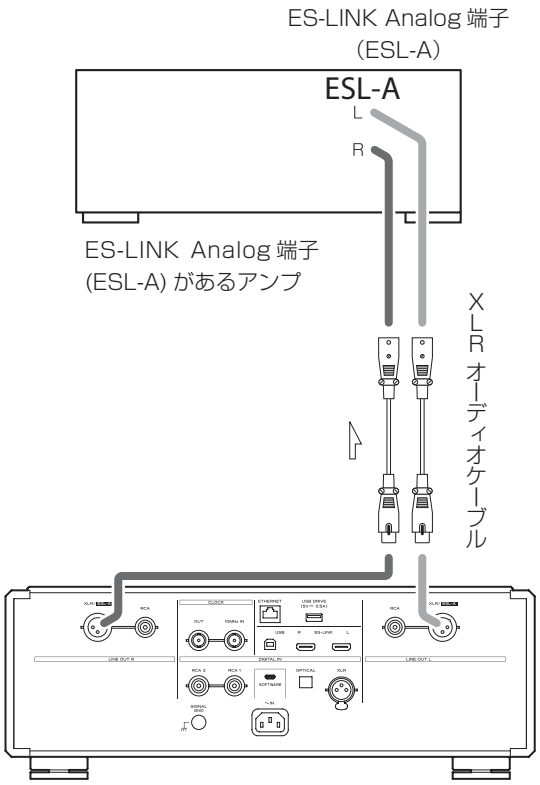
⚠ エソテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

I メンテナンス用端子 (SOFTWARE)

メンテナンスで使用します。弊社サービス部門の指示が無い限り、何も接続しないでください。

接　続 (続き)

ES-LINK Analog で接続する場合



ES-LINK Analog 端子 (ESL-A) があるアンプと本機のアナログ音声出力端子 (XLR/ESL-A) とを XLR オーディオケーブルで接続します。

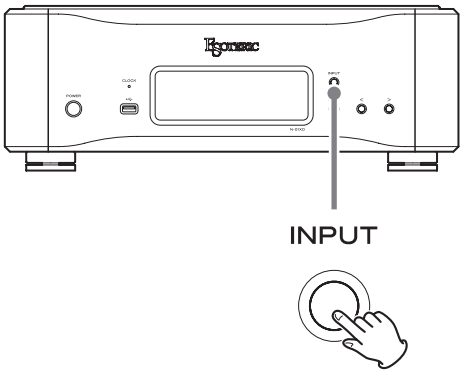
- 本機のアナログ出力設定 (AOUT) を ESLA にしてください。
- XLR や RCA でも接続することができます。お好みの音質の接続を選んでご使用ください。

ES-LINK Analog について

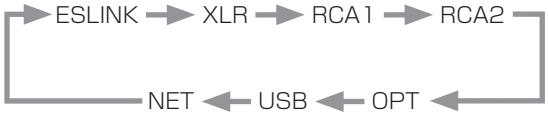
ハイスピードで強力な電流供給能力を誇る HCLD バッファー回路の高性能を生かした電流伝送方式により、信号経路のインピーダンスの影響を受けにくく、信号をピュアに力強く伝送することが可能です。

- 接続ケーブルは一般的なバランスケーブル (端子形状 :XLR) ですが、独自伝送方式のため、対応する機器以外ではご使用できません。

入力ソースを切り換える



入力切換ボタン (INPUT) を押すたびに、以下のように入力ソースが切り換わります。



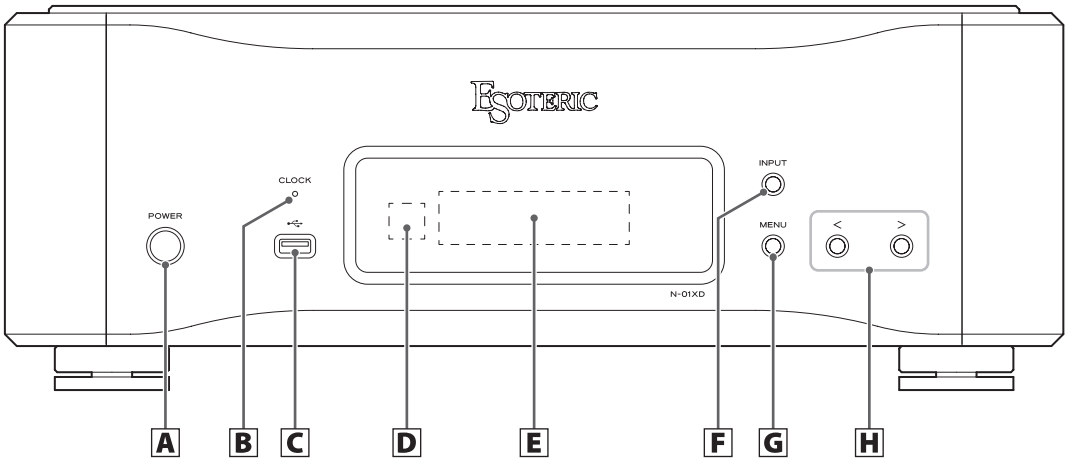
(パソコン用 USB 入力) (光デジタル入力)

- 入力信号がデジタルオーディオ信号ではない場合や、Dolby Digital、DTS など本機が対応していないオーディオ信号フォーマットの場合、サンプリング周波数表示部に「- - -」と表示されます。 接続している機器のデジタル出力設定を PCM オーディオ出力にしてください。
- USB ドライブ端子に接続したUSB メモリーの音楽ファイルを再生するときは、入力ソースを NET にして、アプリを使って再生してください。

注意

ネットワーク入力回路電源設定 (NETin>) を「OFF」に設定しているとき「NET」は表示されません。(19 ページ)

各部の名称



A 電源ボタン (POWER)

電源のオンとオフを切り換えます。
電源がオンのときは、ボタンの周囲が点灯します。
電源がオフのときは、消灯します。

本機を使わないときは、電源をオフにしてください。

B クロックインジケーター (CLOCK)

クロック同期の状態を表示します。
クロック同期中にインジケーターが点滅し、同期すると点灯に変わります。

C USB ドライブ端子 ( )

音楽ファイルが保存されている USB メモリーを接続してください。

- USB ドライブ端子に接続した USB メモリーの音楽ファイルを再生するときは、入力ソースを NET にして、アプリを使って再生してください。(12 ページ)

D リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

- 本機にリモコンは付属していません。
- 本機は、エソテリック製品付属リモコンでディマーの変更ができます。

E ディスプレー

入力ソースのサンプリング周波数などの各種情報を表示します。

F 入力切換ボタン (INPUT)

デジタル入力を切り換えます。デジタル機器が接続されている端子を選んでください。デジタル信号が入力されていないときは、ディスプレーが点滅します。

G メニューボタン (MENU)

設定モードになります。

H 選択項目変更ボタン (〈 / 〉)

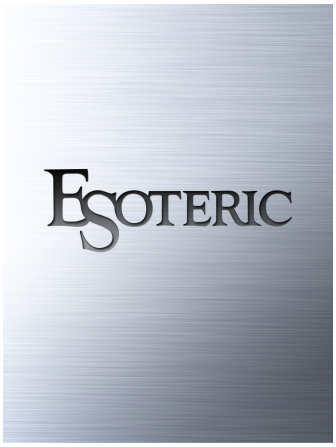
設定モード時のパラメーター変更に使用します。
NET 選択時は、プレイリストの曲を再生したりスキップしたりできます。

- 本機で音量の変更は出来ません。
- 入力ソースが NET のときに「〈」ボタンを長押しすると、再生時間表示と再生サンプリング周波数表示を切り換えることができます。
- 入力ソースが NET のとき、再生中に「〉」ボタンを長押しすると、再生の一時停止を行うことができます。
- 入力ソースが USB、NET で「READY」表示中に「〉」ボタンを長押しすると、ディスプレーの点滅表示と点灯表示を切り換えることができます。

ネットワークプレーヤー機能を使用する

本機のネットワークプレーヤー機能は、OpenHome、Roon Ready、Spotify Connect、Tidal Connect などに対応しています。それぞれのサービスに対応したアプリを使うことで、楽曲の再生を行うことができます。

- iOS、Android に対応した OpenHome コントロールアプリ「ESOTERIC Sound Stream」をご利用いただけます。App Store または Google Play ストアにて「ESOTERIC Sound Stream」で検索してください。



- ESOTERIC Sound Stream 取扱説明書 (https://www.esoteric.jp/jp/product/sound_stream/download) をご覧になり、プレイリストを作成して再生してください。
- ETHERNET 端子、USB ドライブ端子 (USB DRIVE)、を使用する場合は、専用アプリ (無償) をインストールしたタブレット / スマートフォンを同一ネットワークに接続する必要があります。
- ネットワークモジュールのファームウェアは ESOTERIC Sound Stream を介して更新されます。定期的に ESOTERIC Sound Stream で本機を選択し、最新のファームウェアに更新することを推奨します。
  ファームウェアに更新があった場合、自動的に更新を促すポップアップが表示されます。

OpenHome http://openhome.org/

本機の中にプレイリストデータを持ち、NAS や本機に接続された USB メモリーに格納された楽曲を OpenHome 対応のコントロールアプリ（ESOTERIC Sound Stream など）を使用し、プレイリストに登録することで、楽曲を再生することができます。 ESOTERIC Sound Stream を使用すると、Tidal や Qobuz などのストリーミングサービスからもお好みの楽曲をプレイリストに登録することができます。 OpenHome では、プレイリストが再生デバイス側に格納されているため、プレイリストへの楽曲の登録後は、コントロールアプリを終了させてもプレイリストの曲順通りの再生が可能です。

Roon Ready https://roonlabs.com/

本機は Roon Labs からリリースされている音楽再生・管理ソフト Roon での楽曲再生に対応しています。 Roon システムは 3 つの要素「Control（操作部）」、「Core（中核部）」、「Output（出力部）」から構成されています。 本機は、Roon 独自の高音質オーディオ伝送フォーマット RAAT（Roon Advanced Audio Transport）に対応したオーディオ出力部の役割を担います。
また本機では、Roon での音楽再生を最高のパフォーマンスで行うため RAAT モードを選択できます。 通常モードで対応している Roon 以外のサービス（OpenHome、Spotify Connect、Tidal Connect など）を停止させ、Roon での楽曲再生に特化したモードです。

- RAAT モードの設定方法は、20 ページを参照ください。
- RAAT モード時は、Roon アプリからのみコントロールが可能となります。

Spotify Connect https://www.spotify.com/
Tidal Connect https://tidal.com/

ストリーミング音楽サービス Spotify や Tidal の専用アプリから本機を出力先として選択することができます。 楽曲選択などの操作は、それぞれのサービスに最適化された専用アプリから行うことができ、スマートフォンなどを使って手軽に本機を使った楽曲再生が可能です。
※ 詳しい操作方法は、それぞれのサービスのアプリを参照してください。

USB DAC 機能を使用する

対応 OS

USB 接続できるパソコンの OS は下記のいずれかです。
下記以外の OS での動作保証はいたしません。
(2019 年 11 月現在)

Mac の場合

OS X Lion (10.7)
OS X Mountain Lion (10.8)
OS X Mavericks (10.9)
OS X Yosemite (10.10)
OS X El Capitan (10.11)
macOS Sierra (10.12)
macOS High Sierra (10.13)
macOS Mojave (10.14)
macOS Catalina (10.15)

Windows の場合

Windows 7 (32bit 版、64bit 版)
Windows 8 (32bit 版、64bit 版)
Windows 8.1 (32bit 版、64bit 版)
Windows 10 (32bit 版、64bit 版)

ドライバーのインストール

Mac の場合

OS 標準のドライバーで動作するので、専用ドライバーのインストールは必要ありません。

Windows の場合

本機でパソコンに記録されている音楽ファイルの再生を行うには、専用ドライバーをパソコンにインストールする必要があります。

専用ドライバーをパソコンにインストールする

下記 URL より専用ドライバーをダウンロードして、パソコンにインストールしてください。
インストール手順の詳細についても下記 URL をご覧ください。

https://www.esoteric.jp/jp/product/n-01xd/download

ご注意

パソコンとの USB 接続の前に専用ドライバーソフトをインストールしてください。
ドライバーインストール前にパソコンと本機を接続した場合、正しく動作させることができません。

パソコンのハードウェア、ソフトウェアの構成によっては、上記の OS を使用していても動作しない場合があります。

転送モードについて

伝送可能サンプリング周波数は 44.1/48/88.2/96/176.4/192/352.8/384kHz です。DSD の場合は、2.8/5.6/11.2/22.5MHz です。

- DSD 22.5MHz は、DSD Native 再生にのみ対応しており、DoP（DSD Audio over PCM Frames）再生には対応していません。

正しく接続されると、OS のオーディオの出力先として、「ESOTERIC USB AUDIO DEVICE」が選択可能になります。

本機のデータ転送では、パソコンから送出されたオーディオデータを本機側のクロックを使って処理するので、データ伝送時のジッターを抑制することができます。

再生アプリケーションソフト「ESOTERIC HR Audio Player」のダウンロード

パソコンを使った音楽ファイルの再生には、ESOTERIC HR Audio Player をご利用いただけます。
下記 URL からダウンロードしてご利用ください（無償）。

https://www.esoteric.jp/jp/product/hr_audio_player/download

ESOTERIC HR Audio Player は、Windows および Mac 上で動作するハイレゾ音源対応の高音質プレーヤーソフトウェアです。複雑な設定をしなくても DSD を含むハイレゾ音源再生を高音質で楽しむことが可能です。

ESOTERIC HR Audio Player の設定について

ESOTERIC HR Audio Player で、DSD 22.5MHz を再生する場合、[Configure] ウインドウの [Decode mode] の項目で、[DSD Native] を選択してください。

DSD 22.5MHz を再生しない場合は、[DSD over PCM] もしくは [DSD Native] を選択することができますので、好みの再生方式を選択してください。

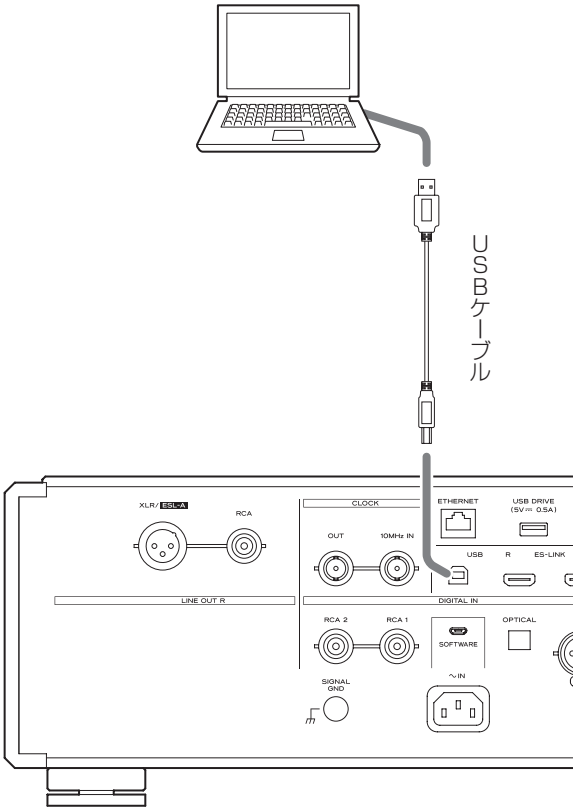
詳しくは、ESOTERIC HR Audio Player 取扱説明書の「DSD 再生方式の選択」をご覧ください。

USB DAC 機能を使用する (続き)

音楽ファイルを再生する

1 USB ケーブルでパソコンと本機を接続する。

USB ケーブルは市販の本機の接続端子に合うものをご使用ください。



2 パソコンの電源を入れる。

OS が正常に起動できたことを確認してください。

3 電源ボタン (POWER) を押して本機の電源を入れる。

POWER



4 入力切換ボタン (INPUT) をくり返し押して「USB」を選ぶ。(10 ページ)

INPUT



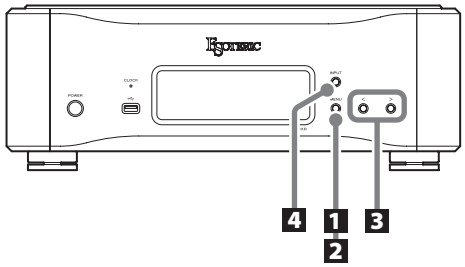
5 パソコンで音楽ファイルの再生を開始する。

パソコン側の音量調整は最大に設定して、本機に接続したアンプで音量を調整するとより良い音質が得られます。アンプの音量は再生開始時には最小にし、徐々に大きくして調整してください。

- パソコンから本機をコントロールしたり、本機からパソコンをコントロールすることはできません。
- 本機から USB 経由でパソコンに音楽ファイルを転送することはできません。
- USB 接続で音楽ファイルを再生しているときに、以下の操作を行わないでください。パソコンの誤動作の原因となります。これらの操作は必ず音楽再生ソフトを終了してから行ってください。
  - ・USB ケーブルを抜く
  - ・本機の電源をオフにする
  - ・入力を切り換える
- USB 接続で音楽ファイルを再生しているときは、パソコンの操作時のサウンドも再生されます。操作時のサウンドを再生したくない場合は、パソコン側で設定を行ってください。
- 音楽再生ソフトを起動した後で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB」に設定した場合は、音楽ファイルが正しく再生できないことがあります。この場合は、音楽再生ソフトを再起動するか、パソコンを再起動してください。

設定モード

本機の設定は、設定１、設定２、設定３とボリューム調整設定の四つのグループに分かれています。
メニューボタン (MENU) の押し方によって設定１、設定２、設定３とボリューム調整設定の表示を切り換えます。



設定のしかた

1 停止中または再生中に、メニューボタン (MENU) を押す。



設定１が表示されます。

設定２を表示するには、設定１表示中にもう一度、メニューボタン (MENU) を２秒以上押し続けてください。

設定３を表示するには、設定２表示中にもう一度、メニューボタン (MENU) を２秒以上押し続けてください。

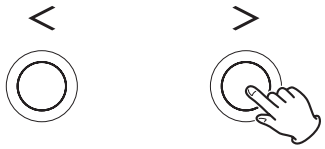
2 メニューボタン (MENU) をくり返し押して、変更する項目を選ぶ。

メニューボタン (MENU) を押すたびに、ディスプレーの表示が変わります。

設定１	設定２	設定３
UPC>	PCMM>	AUD_UPDATE
↓	↓	
CLK>	DSDF>	
↓	↓	
PCMG>	V_CTRL>	
↓	↓	
AOUT>	LanLED>	
↓	↓	
DIMMER>	NETin>	
↓	↓	
DPaOFF>	REMOTE>	
↓	↓	
APS>	F/W ver.	

- 10 秒以上放置すると、設定モードが解除されて通常の表示に戻ります。
  ただし、設定３の AUD_UPDATE は、放置しても設定モードが解除されません。
- 選択しているソースや操作している状態により表示されない項目があります。

3 選択項目変更ボタン (< / >) を使って、設定を変更する。



複数の項目を変更する場合は、手順 2 と 3 をくり返してください。

- F/W ver. 表示中に選択項目変更ボタン (>) を押すと、各ファームウェアのバージョンの確認ができます。DAC のバージョン表示中に選択項目変更ボタン (>) を押すと、F/W ver. 表示に戻ります。

4 入力切換ボタン (INPUT) を押して、設定を終了する。



または、10 秒以上放置すると、設定を終了して通常の表示に戻ります。

- 設定した内容は電源プラグを抜いても保持されます。

設定 1

PCM 信号のアップコンバート設定

UPC> ＊＊＊

PCM 信号が入力されているときの入力信号を、アップコンバートしたり、DSD 信号に変換したりすることができます。

- 出荷時は「ORG」に設定されています。
- 各入力ごとに設定可能です。

ORG

アップコンバートを行いません。

- 入力信号をアップコンバートしないで、そのまま D/A コンバーター部に伝送します。

2Fs

88.2kHz よりも低い周波数の PCM 信号が入力されているとき、アップコンバートを行い、D/A 変換を行います。

4Fs

176.4kHz よりも低い周波数の PCM 信号が入力されているとき、アップコンバートを行い、D/A 変換を行います。

8Fs

352.8kHz よりも低い周波数の PCM 信号が入力されているとき、アップコンバートを行い、D/A 変換を行います。

16Fs

705.6kHz よりも低い周波数の PCM 信号が入力されているとき、アップコンバートを行い、D/A 変換を行います。

DSD

DSD 信号に変換して、D/A 変換を行います。

クロック設定

CLK> ＊＊＊

外部クロックによる同期設定や、クロックに対応したソース機器へのクロック出力の設定ができます。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。
- NET、USB 入力以外で、クロック同期機能のないソース機器と接続するときは、OFF を設定してください。
- USB 入力、NET 入力時は、OUT44、OUT48 は選択できません。

OFF

クロック同期を行いません。入力デジタル信号のクロックで動作します。
NET、USB 入力時は内蔵発振器を使用します。
クロックインジケーター (CLOCK) が緑色に点灯します。

IN

本機のクロック入力端子 (10MHz IN) にクロックジェネレーターから 10MHz のクロックを入力し、本機を同期させるモードです。

クロックインジケーター (CLOCK) が点灯します。同期中または同期できない状態の場合は、クロックインジケーター (CLOCK) が点滅します。

- 入力可能なクロックの周波数は、10MHz です。入力オーディオ信号と入力クロック信号は同期している必要があります。
- 音楽再生中にクロックジェネレーターの電源をオフにしたり、10MHz クロックを供給している BNC 同軸ケーブルの接続をはずして、クロックの供給を止めると、スピーカーから大きなノイズが発生することがありますのでご注意ください。

OUT44

クロック出力端子 (OUT) から 44.1kHz を出力します。

OUT48

クロック出力端子 (OUT) から 48kHz を出力します。

PCM 出力ゲイン設定

PCMG> ＊＊＊

PCM 信号再生時のゲインを設定します。PCM 信号再生時と DSD 信号再生時の音量差を少なくするとこができます。必要に応じて設定してください。

- 出荷時の USB、NET 入力は「LOW」、その他の入力は「FULL」に設定されています。
- 各入力ごとに設定可能です。

FULL
ゲイン調整しません。

LOW
PCM 信号のフルスケール 0dB 再生時の出力レベルと DSD 信号の 0dB 再生時の出力レベルが同じレベルになります。
再生された PCM 信号が DSD 信号に対して大きい音量と感じたときに使用してください。

アナログ出力設定

AOUT> ＊＊＊

使用するアナログ出力端子を設定します。

- 出荷時は「XLR2」に設定されています。

XLR2
XLR 端子から 2 番 HOT でアナログオーディオ信号を出力します。

XLR3
XLR 端子から 3 番 HOT でアナログオーディオ信号を出力します。

RCA
RCA 端子からアナログオーディオ信号を出力します。

ESLA
XLR 端子から ES-LINK Analog (ESL-A) でアナログオーディオ信号を出力します。

- 接続には一般的な XLR ケーブルを使用しますが、独自伝送方式のため、接続は対応する機器のみとなります。
- ES-LINK Analog (ESL-A) については 10 ページを参照下さい。

ディマー (DIMMER) 設定

DIMMER> ＊＊＊

本体のディスプレーの明るさを調節できます。
出荷時は「2」に設定されています。



- DIMMER>1 または DIMMER>0 が選択されていても、設定メニューやエラー内容は通常の明るさ (DIMMER>2) で表示されます。

ディスプレー自動消灯設定

DPaOFF> ＊＊＊

ディスプレー表示を自動的に消灯することができます。

- 出荷時は、「ON」に設定されています。
- 有機 EL 表示管は、同じ表示状態で長時間使用し続けると、輝度ムラが起こることがありますので、自動消灯設定を ON にすることをお勧めします。

ON
10 分間操作の無い状態が続くと、表示が自動的に消灯します。

OFF
表示を自動消灯しません。

- 10 分間操作の無い状態が続くと、DIMMER>1 と同じ明るさにし、ディスプレーの消耗を防ぎます。

設定 1 (続き)

オート・パワー・セーブ設定

APS> ＊＊＊

選択されている入力ソースからの入力信号がない状態が設定時間続くと、電源を自動的にオフにします。

- 出荷時は、「30m」に設定されています。
- 選択されていない入力ソースの状態は、オート･パワー･セーブの動作に影響しません。

30m
30 分

60m
60 分

90m
90 分

120m
120 分

OFF
オート・パワー・セーブ機能を使用しません。

設定 2

PCM 信号の D/A コンバート動作モード設定

PCMM> ＊＊＊

PCM 信号再生時の D/A コンバート動作モードを M1、M2、M3 の 3 種類から設定できます。
Δ Σ モジュレータの動作周波数やハードウェアの誤差を吸収するためのランダマイズアルゴリズムを変更しています。
M1 が ESOTERIC のリファレンスのモードです。
Δ Σ モジュレーターについては、M1、M2、M3 の順に動作周波数が低くなります。
ランダマイズアルゴリズムについては、M1、M2、M3 の順序に入れ換えの度合いが高くなります。
お好みの音色の設定を選択してください。

- 出荷時は「M1」に設定されています。

DSD フィルター設定

DSDF> ＊＊＊

DSD 再生時のデジタルフィルターを設定します。
お好みに合わせて設定してください。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。

OFF
デジタルフィルターを使用しません。

F1、F2、F3
デジタルフィルターを使用します。F1 から F3 は、周波数特性の異なるデジタルフィルターで、F1、F2、F3 の順にカットオフ周波数が下がります。

ボリューム調整設定

V_CTRL> ＊＊＊

NET 入力時のアプリによるボリューム調整を設定します。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。

OFF (推奨)

アプリの音量調整を無効にします。
デジタル信号はボリューム調整ブロックを通らず、D/A コンバーター部に伝送されます。

ON

アプリの音量調整を有効にします。
ボリューム調整は、デジタル領域で音量調整を行うため、DSD データは PCM データに変換されてから、D/A コンバーター部に伝送されます。

- DSD 11.2 / 22.5MHz の音楽ファイルは再生できません。

メモ

設定が「ON」のとき、画面左上に「VOLON」と表示されます。

ETHERNET 端子の LED 設定

LanLED> ＊＊＊

ETHERNET 端子の LED の設定をします。OFF を選択すると ETHERNET 端子部分の LED が消灯し、音質への影響を減らすことができます。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。
- OFF に設定しても、本機の電源をオンにしてから内部の初期化が終わるまで (「WAIT...」表示中) や LAN ケーブルを挿した直後は LED が点滅します。

OFF

EHTERNTE 端子の LED を消灯します。

ON

ETHERNET 端子の LED の点灯 / 点滅を有効にします。

ネットワーク入力回路電源設定

NETin> ＊＊＊

ネットワーク入力回路の電源をオン、オフします。

- 出荷時は ON に設定されています。

ON

ネットワーク入力回路の電源をオンにし、ネットワーク経由で音楽ファイルの再生を行います。

OFF

ネットワーク入力回路の電源をオフにし、ネットワーク入力回路の動作を停止します。
入力ソースの選択肢に「NET」が表示されなくなります。
(10 ページ)

リモコン動作設定

REMOTE> ＊＊＊

P-05X などに付属のエソテリック用リモコン信号の受信設定をします。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。
- 設定に関わらず、リモコンのディマーボタン (DIMMER) は動作します。
- エソテリックのアンプを使用している場合は、「OFF」に設定してください。「ON」に設定するとアンプも同時に動作してしまいます。

OFF

リモコンのボタンで動作しなくなります。

ON

リモコンのアンプコントロール用ボタンで動作します。
リモコンと本体ボタンの対応は以下の表を参照してください。

リモコン	本体
SETUP	MENU
INPUT	INPUT
VOLUME ＋−	選択項目変更ボタン 〈〉

ファームウェアのバージョン表示

F/W ver.

F/W ver. 表示中に選択項目変更ボタン (›) を押すと、各ファームウェアのバージョンの確認ができます。

I/F ****
I/F ファームウエア

NET ****
ネットワークファームウェア

M *****
MQA/USB ファームウェア

DIG ****
Digital FPGA ファームウェア

DAC L**R**
DAC FPGA ファームウェア

RAAT モード

- I/F ファームウェア v3.00 以降、NET ファームウェア 150 以降でこの機能に対応しています。

RAAT（Roon Advanced Audio Transport）のみで動作する RAAT モードを選択することができます。
RAAT モードでは、Roon での音楽再生を最高のパフォーマンスで行うために、通常モードで対応している Roon 以外のサービス（OpenHome、Spotify Connect、Tidal Connect など）を停止させ、Roon コントロールアプリからのみ操作可能となります。

RAAT モードの設定方法

1 設定 2 のファームウェアのバージョン表示 (F/W ver.) を選択して、NET を表示させる。

2 本体の選択項目変更ボタン (›) を長押しする。

NETM > RAAT が点滅します。

3 本体の選択項目変更ボタン (›) を再度長押しする。

RAAT モードが設定され、ネットワークプレーヤープログラムが再起動されます。再起動完了後は、Roon でのみ音楽再生ができる状態になります。

- RAAT モードで動作しているときは、本体のディスプレーに RAAT マークが表示されます。
- RAAT モードで動作させている場合、ESOTERIC Sound Stream などの OpenHome コントロールアプリや Spotify、Tidal アプリから本機は認識されなくなります。

RAAT モードから通常（NORMAL）モードに戻す方法

1 設定 2 のファームウェアのバージョン表示 (F/W ver.) を選択して、NET を表示させる。

2 本体の選択項目変更ボタン (›) を長押しする。

NETM > NORM が点滅します。

3 本体の選択項目変更ボタン (›) を再度長押しする。

RAAT モードが解除されて通常モードに戻り、ネットワークプレーヤープログラムが再起動されます。再起動完了後は、OpenHome などの各サービスが使用可能になります。

設定 3

オーディオプログラムアップデート設定

AUD_UPDATE

本機のオーディオ信号処理プログラムのアップデートを行うときに使用します。
詳しいアップデート方法は、アップデートプログラムに添付されている説明書を参照ください。

MQA (Master Quality Authenticated)

MQA は、英国が誇るオリジナルマスター録音のサウンドを実現する技術として高く評価されています。マスター MQA ファイルは完全に認証され、ストリーミングまたはダウンロードに適したコンパクトなファイルサイズが特長です。
詳細は、www.mqa.co.uk をご覧ください。
N-01XD は MQA に対応しており、MQA オーディオ･ファイル、MQA ストリーミングの再生が可能で、オリジナルマスター録音のサウンドをお届けします。

「MQA」または「MQA.」の表示は、本機が MQA ストリームまたは MQA ファイルをデコードし、再生していることを示し、音声が元の音源と同一であることが保証されていることを示します。「MQA.」は、スタジオでアーティスト / プロデューサーによって承認されたか、または著作権所有者によって確認された MQA スタジオファイルを再生していることを示すものです。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も併せてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (27 ページ) にご連絡ください。

一般

電源が入らない。
- ➡ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ➡ 電源コードと本機の接続を確認してください。
- ➡ 電源コードが接続されたコンセントに電流が流れているか、別の機器を接続するなどして確認してください。

電源が自動的にオフになる。
- ➡ オート・パワー・セーブ機能が働いて電源がオフになっています。
  本体の電源ボタンを押して、電源をオンにしてください。必要に応じてオート・パワー・セーブ設定を変更してください。(18 ページ)

ボタンを押しても反応しない。
- ➡ 続けてボタンを押すと、機械側が対応できないことがあります。ボタンを押すときは、機械が反応するまで少しお待ちください。

雑音がする。
- ➡ テレビなど強い磁気を帯びたものからはできるだけ離して設置してください。

スピーカーから音が出ない。音が歪む。
- ➡ アンプ、スピーカーとの接続を確認してください。
- ➡ アンプなどの音量を調節してください。
- ➡ 一時停止中は音が出ません。アプリを操作して、通常の再生に戻してください。
- ➡ アナログ出力の設定を確認してください。(17 ページ)

クロック同期

クロックインジケーター (CLOCK) の点滅が消えない。
- ➡ クロック同期を使用しない時は、クロック設定 (CLK>) で「OFF」を選んでください。
- ➡ 同期できないクロックが入力されている可能性があります。クロック入力端子 (10MHz IN) の接続や、接続している機器の設定を確認してください。

「プツ、プツ……」と周期的なノイズが出る。
- ➡ クロック同期モード時にスピーカーから「プツ、プツ……」と周期的なノイズが出る場合は、接続している機器がクロック同期モードになっていない可能性があります。クロック入力端子 (10MHz IN) の接続状態や、接続している機器のクロック同期の設定を確認してください。

(正常に) 再生できないオーディオファイルがある。
- ➡ メディアサーバー (NAS) によってそれぞれ対応ファイルの種類が異なります。メディアサーバー (NAS) の仕様も併せてご確認ください。

音が途切れ途切れに再生される。
- ➡ 44.1kHz などの低いビットレートや MP3 などの不可逆圧縮のファイルでは正常で、384kHz などの高いビットレートや FLAC などの可逆圧縮ファイルで音が途切れる場合、ETHERNET の速度が不足している可能性があります。
  オーディオデータは、NAS からルーターを経て本機へと伝送されますので、NAS とルーター、ルーターと本機が、有線 LAN ケーブルで接続されているほうが有利です。

パソコンとの USB 接続

パソコンで本機が認識されない。
- ➡ 対応するパソコンの OS は、13 ページをご覧ください。対応していない OS での動作保証はいたしかねます。

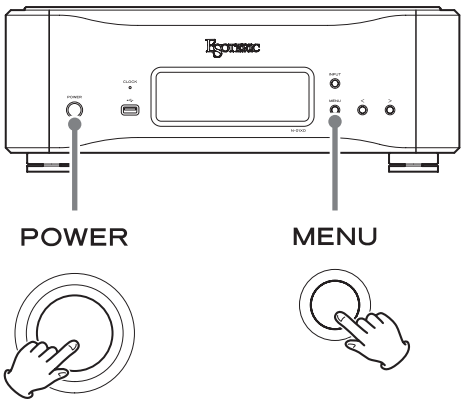
雑音がする。
- ➡ 音楽ファイル再生中に他のアプリケーションを起動すると、音が途切れたり、ノイズが発生する場合があります。再生中は他のアプリケーションを起動しないでください。
- ➡ 本機とパソコンを USB ハブなどを介して接続していると雑音がでることがあります。そのような場合は、本機とパソコンを直接接続してください。

音楽ファイルが再生できない。
- ➡ パソコンと本機を接続して「USB」に切り換えてから、音楽再生ソフトを起動して再生を開始してください。音楽再生ソフトを起動した状態で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB」に切り換えた場合は、音楽データが正しく再生できないことがあります。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合はいったん電源を切り、約 1 分後に始めから操作してください。

困ったときは (続き)

出荷時の状態に戻すには



設定した内容は、電源プラグを抜いても保持されます。
以下の操作をすると、設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、すべてのメモリーを消去します。

1 電源をオフにする。

電源がオンの場合は、電源ボタン (POWER) を押して電源をオフにしてから 30 秒以上待ってください。

2 メニューボタン (MENU) を押しながら電源ボタン (POWER) を押す。

ディスプレーに「Setup CLR (設定消去)」が表示されたらメニューボタン (MENU) から指を離してください。

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて 1 ～ 2 時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

仕　様

デジタル音声入力

ES-LINK . . . . . 1 系統 (L/R)
　入力信号形式
　　リニア PCM (ES-LINK5 フォーマット)
　　44.1 ～ 768kHz、48bit
　　DSD (ES-LINK5 フォーマット)
　　2.8MHz、5.6MHz、11.2MHz、22.5MHz
XLR . . . . . 1 系統
　入力レベル . . . . . 5.0 Vp-p
　入力インピーダンス 110Ω
　入力信号形式
　　リニア PCM (AES/EBU フォーマット)
　　32 ～ 192 kHz、16bit、24 bit
　　DSD (ES-LINK1、ES-LINK2、DoP フォーマット)
　　2.8 MHz
RCA . . . . . 2 系統
　入力レベル . . . . . 0.5 Vp-p
　入力インピーダンス . . . . . 75 Ω
　入力信号形式
　　リニア PCM（IEC60958 フォーマット）
　　32 ～ 192 kHz、16 bit、24 bit
　　DSD（DoP フォーマット）. 2.8MHz

光デジタル . . . . . 1 系統
　入力レベル . . . . . – 24.0 ～ –14.5 dBm peak
　入力信号形式
　　リニア PCM（IEC60958 フォーマット）
　　32 ～ 192 kHz、16 bit、24 bit
　　DSD（DoP フォーマット）. . . . . 2.8 MHz

USB . . . . . 1 系統（B 端子）
　　USB2.0 以上推奨
　入力信号形式
　　リニア PCM . . . . . 44.1 ～ 384 kHz
　　16 bit、24 bit、32 bit
　　DSD
　　2.8 MHz、5.6 MHz、11.2 MHz、22.5 MHz
ETHERNET 1
　　(1000BASE-T)
　入力信号形式
　　リニア PCM . . . . . 44.1 ～ 384 kHz (ステレオ)
　　16 bit、24 bit、32 bit
　　● 整数型フォーマットのファイルのみ再生可能
　　DSD . . . . . 2.8 MHz、5.6 MHz、11.2 MHz、
　　22.5 MHz (ステレオ)
　対応ファイルフォーマット
　　PCM ロスレス . . FLAC、Apple Lossless(ALAC)、
　　WAV、AIFF、MQA
　　DSD ロスレス . . . . . DSF、DSDIFF（DFF）、DoP
　　圧縮オーディオ . . . . MP3、AAC（m4a コンテナ）

USB ドライブ端子 2
対応ファイルシステム
FAT32、exFAT または NTFS
シングルパーティション
USB2.0 以上推奨
最大供給電流 . . . . . 0.5 A
入力信号形式
リニア PCM . . . . . 44.1 ～ 384 kHz（ステレオ）
16 bit、24 bit、32 bit
● 整数型フォーマットのファイルのみ再生可能
DSD. . . . . 2.8 MHz、5.6 MHz、11.2 MHz、
22.5 MHz (ステレオ)
対応ファイルフォーマット
PCM ロスレス . . FLAC、Apple Lossless(ALAC)、
WAV、AIFF、MQA
DSD ロスレス. . . . . DSF、DSDIFF（DFF)、DoP
圧縮オーディオ . . . . MP3、AAC（m4a コンテナ）

クロック入力

BNC. 1
入力可能周波数 (±10 ppm) . . . . . 10 MHz
入力インピーダンス . . . . . 50 Ω
入力レベル
矩形波 . . . . . TTL レベル相当
サイン波 . . . . . 0.5 ～ 1.0V rms

クロック出力

BNC. 1
出力レベル . . . . . TTL レベル相当（75Ω 負荷時）
出力周波数 . . . . . 44.1、48kHz
出力周波数精度. . . . . ±0.5ppm（出荷時）

アナログ音声出力

XLR/ESL-A. . . . . 1 系統 (L/R)
RCA. . . . . 1 系統 (L/R)
出力インピーダンス
XLR . . . . . 40 Ω
RCA . . . . . 15 Ω
最大出力レベル (1kHz、10kΩ 負荷時)
XLR . . . . . 5.0 Vrms
RCA . . . . . 2.5 Vrms
周波数特性 . . . . . 5 Hz ～ 75 kHz (− 3 dB)
S/N 比. . . . . 113 dB
歪率 . . . . . 0.0007% (1 kHz)

一般

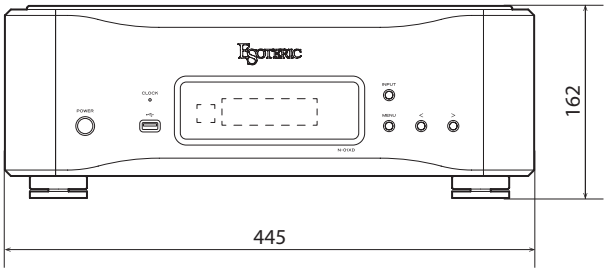
電源 . . . . . 100 V AC 50/60 Hz
消費電力. . . . . 38 W
外形寸法. . . . . 445 mm x 162 mm x 438 mm
(WxHxD、突起部を含む)
質量 . . . . . 26.3 kg
許容動作温度 . . . . . ＋5 ℃～+ 35 ℃
許容動作湿度 . . . . . 5%～ 85% (結露のないこと)
許容保管温度 . . . . . − 20 ℃～+ 55 ℃

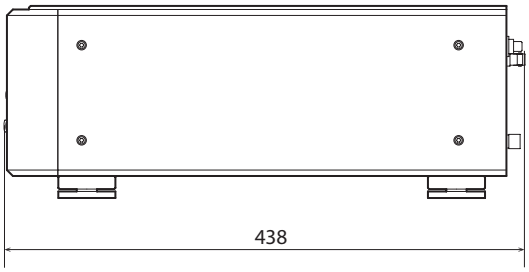
付属品

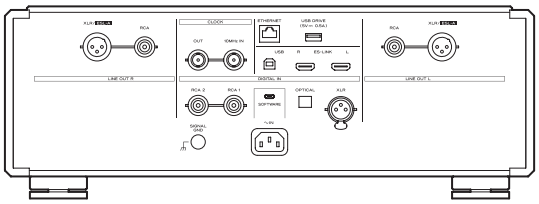
電源コード ×1
フェルト ×4
HDMI ケーブル ×1
取扱説明書 (本書)×1
ご愛用者カード ×1

仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

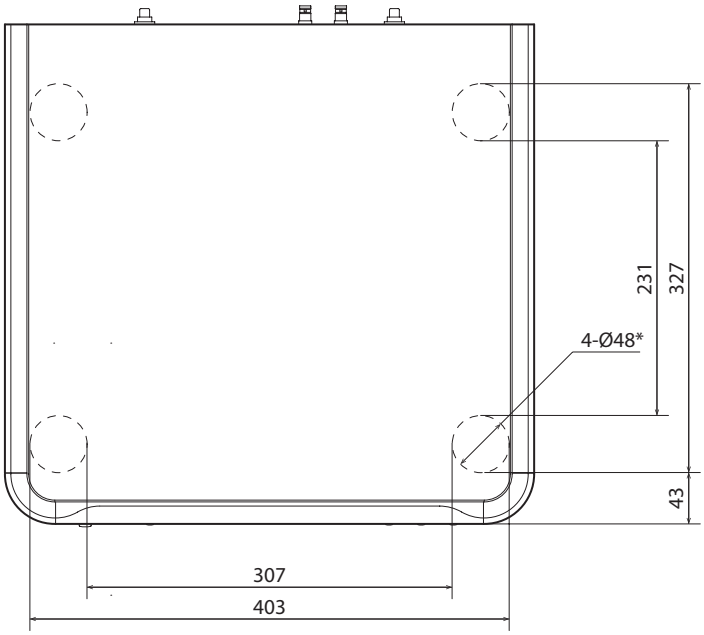
寸法図







フット配置図



単位：mm

* 直径 48mm フット ×4

保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。

添付のご愛用者カードに必要事項を御記入の上、ご購入後なるべく 1 ヶ月以内にご返送ください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日から 5 年です。

- 保証書発行には約 1 ヶ月程度かかります。あらかじめご了承ください。
- ご記入頂いたご愛用者カードのご購入日が弊社出荷日と大きく異なる場合（6 ヶ月以上ご愛用者カードの返送がない場合、ご愛用者カードでのユーザー登録をせず転売された場合等）は、保証書を発行できない場合があります。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) 消耗品の自然消耗、磨耗、劣化や寿命部品等の交換が必要となった場合のメンテナンスやオーバーホール
   (7) 保証書の提示がない場合
   (8) 保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名 (印) の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を製造打ち切り後 8 年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (27 ページに記載) にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

22 ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (27 ページに記載) にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害 (録音内容などの補償) の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代： 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料： 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：ネットワークDAC N-01XD
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

エソテリック株式会社

〒206-8530　東京都多摩市落合 1-47　　https://www.esoteric.jp/jp/

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせ

AVお客様相談室　〒206-8530　東京都多摩市落合 1-47

042-356-9235 携帯電話、IP 電話をご利用の場合

0570-000-701 ナビダイヤル® 固定電話をご利用の場合

FAX：042-356-9242

受付時間は、10:00 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

故障・修理や保守についてのお問い合わせ

ティアック修理センター　〒358-0026　埼玉県入間市小谷田 858

04-2901-1033 携帯電話、IP 電話をご利用の場合

0570-000-501 ナビダイヤル® 固定電話をご利用の場合

FAX：04-2901-1036

受付時間は、9:30 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

● 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



エソテリック株式会社

PRINTED IN JAPAN 0822 MA-3028F